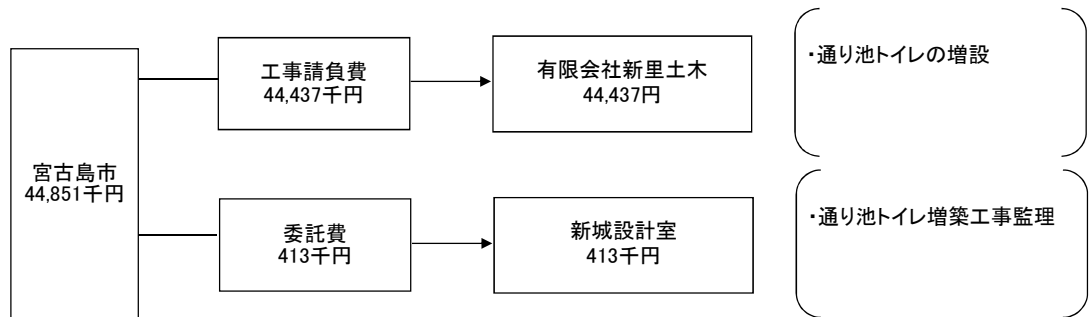


市町村名	宮古島市							
令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-③	伊良部地区観光地総合整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-工			
担当部署名	観光商工部 観光商工課	事業実施(予定)年度	平成28年～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備			
事業内容	観光客の利便性の確保を図るため、通り池のトイレ増築工事を行う。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和2年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R3年度		
	予算の状況	(a)当初予算額		44,851				
		(b)予算現額		44,851				
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
		(d)繰越額			27,076			
	A.計(b+d)	0	44,851	27,076	0	0		
	B.執行済額		17,775	26,662				
	うち交付金充当額		14,220	21,329				
	次年度繰越額		27,076					
	執行率(%) (B/A)	#DIV/0!	39.6%	98.5%	#DIV/0!	#DIV/0!		
予算の状況の説明	コロナウイルス感染症の影響で工事資材の到着が遅れ、工期が延長となったため、繰越しての事業執行となった。入札差金により415千円が不用となった。							
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	通り池トイレ増築工事	目標	( 工事の完了 )	( )	( )	( )		
		実績	工事の完了					
		目標	( )	( )	( )	( )		
		実績						
達成状況説明	令和元年度に工事を発注したが、コロナウイルス感染症の影響で工事資材の到着が遅れ、工期が延長となり、令和2年度5月に完了した。※男子便所(小3個、大2個)、女子便所(大5個)、多目的便所(1個)を整備							
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	通り池トイレ増設工事の完了	目標	( )	( 工事の完了 )	( )	( )	( )	
		実績		工事の完了				
	【R2成果目標】観光客の利便性の確保が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標	( )	( )	( 80%以上 )	( )	( )
			実績			-		
進捗状況説明	令和元年度に工事を発注したが、コロナウイルス感染症の影響で工事資材の到着が遅れ、工期が延長となった。事業の繰越を行い、令和2年度5月に完了し、供用開始した。成果目標については、新型コロナウイルス感染症の影響により空港待合室で実施していた観光客アンケートをR3年5月下旬に延期したが、緊急事態宣言発出によりデータ収集できなかった。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	令和元年度に工事を発注し、コロナウイルス感染症の影響で事業の繰越を行い、令和2年度5月に完了し、供用開始した。	トイレを増築したことにより、衛生面、利便性が保たれた施設管理が可能となるので、今後は当該施設における集客効果及び観光客の満足度の向上を図っていく。
今後の取り組み方針		
通り池トイレの適正な管理により、宮古島市を訪れる観光客の満足度を向上させる。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
44,851	44,851	35,881	8,970	0



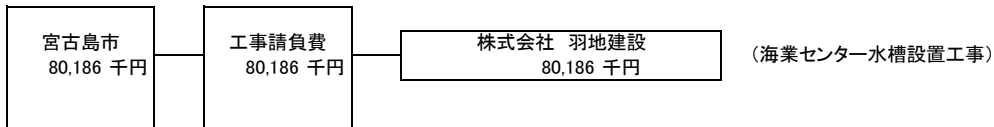
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○入札によって事業者を選定し、適正に事業を執行した。 繰越理由はコロナウイルス感染症の影響で建設資材の調達が遅れたため。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宮古島市					
令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-②	宮古島市海業センター整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア		
担当部署名	農林水産部水産課	事業実施(予定)年度	平成24年～令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	海業センターを機能強化することにより、養殖業の支援、栽培漁業の推進を図る為、水槽設置工事を実施する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R3年度	
		(a)当初予算額	250,815	80,186			
		(b)予算現額	250,815	80,186			
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)繰越額		126,504	80,186		
		A.計(b+d)	250,815	126,504	80,186	0	0
		B.執行済額	124,311	121,477	80,186		
		うち交付金充当額	99,448	97,181	64,149		
		次年度繰越額	126,504	80,186	—		
		執行率(%) (B/A)	49.6%	96.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		工事に必要な船舶の需要増加による調達困難のため計画を変更し、126,504千円をR1年度に繰り越した。入札差金により5,027千円が不用となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	水槽設置工事の実施		目標 取水管敷設工事、現場管理業務、磁気探査業務、水槽設計業務 ( ) ( 水槽設置工事 ) ( ) ( )				
			実績 取水管敷設工事、現場管理業務、磁気探査業務、水槽設計業務の完了	水槽設置工事の完了			
			目標 ( ) ( ) ( ) ( )				
			実績				
達成説明状況		予定していた水槽設備工事を実施した。 水槽設置工事の内容 1. 水槽設置 N=66基 2. 水槽設置施設内の整備					
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	水槽設置工事の完了 N=66個		目標 ( ) ( ) ( ) ( )	取水管敷設工事、現場管理業務、磁気探査業務、水槽設計業務の完了	水槽設備工事の完了 N=66個		
			実績	取水管敷設工事、現場管理業務、磁気探査業務、水槽設計業務の完了	水槽設備工事の完了 N=66個		
	①種苗生産量・シラヒゲウニ値ウニ		目標 ( ) ( ) ( ) ( )		( 25,000個 )		
			実績		2,070個		
	①種苗生産量・タイワンガザミ稚蟹		目標 ( ) ( ) ( ) ( )		( 140,000尾 )		
			実績		100,461尾		
	②研修施設利用者数		目標 ( ) ( ) ( ) ( )		( 320人 )		
			実績		210人		
	進捗状況説明		水槽設置工事に必要な設計業務の遅れにより、水槽設置工事が繰越事業となった。水槽工事が繰越となったことや種苗生産用母体(親ウニ、蟹)が水温の上昇により、死滅したことから、種苗生産量が増えず、目標に届かなかった。研修施設は令和3年度整備のため、利用者数は横ばいとなり、目標に届かなかった。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(種苗生産量) ・水槽設備が完成したことにより、種苗生産体制が確保されたことから、今後この施設の活用に向け、安定的な供給体制の強化に力を入れる必要がある。  (研修施設利用者数) ・研修施設は令和3年度の整備となったことから、来場者数は横ばいとなった。今後は目標値達成のため、早期の整備が必要となる。	(種苗生産量) ・種苗生産量増加に向け、種苗に必要な母体(親ウニ、蟹)の管理や水質、水温等の管理を徹底し、育成に力を入れる。  (研修施設利用者数) ・漁業協同組合等への情報の発信など、広報活動を行い、更なる来場者数の増に繋げる。
<b>今後の取り組み方針</b>		
(種苗生産量) ・種苗生産量増加に向け、種苗に必要な母体(親ウニ、蟹)の管理や水質、水温等の管理を徹底し、生産育成に力を入れる。また、亜熱帯の沖縄県での地域の特色でもあるシヤコ貝の種苗生産にも力を入れる。  (研修施設利用者数) ・令和3年度研修施設建築工事を実施し、漁業者及び学校関係者への施設を活用に向け、市の広報誌等で情報を発信、広報活動を実施し、継続的にPR活動を行う。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
80,186	80,186	64,149	16,037	0



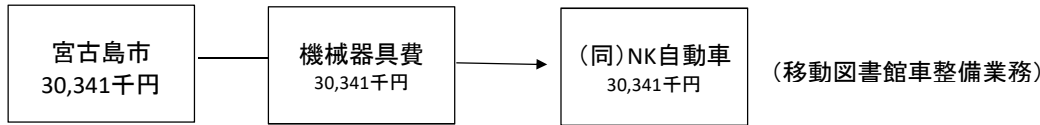
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については不用額がなく、適正な規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市						
令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-③	移動図書館整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部署名	生涯学習部 図書館	事業実施(予定)年度	令和1年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備教育・医療・福祉における住民サービスの向上 V-6-(1)	
事業内容	図書館利用の難しい住民の学習環境の向上を図るため、移動図書館を整備し、公共図書館へアクセスし難い地域等を定期的に巡回する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
<b>予算額・執行額</b> <b>【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)	<b>予算の状況</b>		R1年度	R1年度(繰越)	R2年度		
		(a) 当初予算額	30,555				
		(b) 予算現額	30,342				
		(c) 増減額(b-a)	▲ 213	0	0	0	0
		(d) 繰越額		30,342			
		A. 計(b+d)	30,342	30,342		0	0
		B. 執行済額		30,342			
		うち交付金充当額		24,272			
		次年度繰越額	30,342				
		執行率(%) (B/A)	0.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明	受注生産先の工場が令和元年台風19号により罹災したため納期が遅れ、繰り越すこととなった。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R1活動目標(指標)	達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		移動図書館の整備	目標 ( 移動図書館者の整備 )	( 移動図書館者の整備 )	(    )	(    )	
		実績	台風罹災による納期遅延	整備完了			
	移動図書館巡回	目標 ( ー )	( 巡回開始 )	(    )	(    )		
	実績		6月より開始				
達成状況説明	令和2年6月の供用開始後は巡回ステーションを42箇所まで増やす予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新規の巡回ステーション設置を見送り、令和2年度の巡回ステーションは29箇所となった。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R1成果目標(指標)	基準値(30年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
		移動図書館の年間貸出数	目標 (    )	( 年間貸出冊数7,950冊以上 )	( 年間貸出冊数16,422冊以上 )	(    )	(    )
		実績		繰越	年間貸出冊数18,229冊		
		目標 (    )	(    )	(    )	(    )	(    )	
	実績						
	進捗状況説明	令和2年6月から新移動図書館での巡回は開始しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新規の巡回ステーション設置を見送り、29箇所となった。また令和3年1月27日から2月28日まで感染防止のため移動図書館の巡回は休止したため、成果目標の年間貸出冊数を変更した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新規の巡回ステーション設置を見送ったが、現在のステーション数での令和2年度の目標値は上回っている。巡回1回あたりの貸出冊数は、H29年度の85冊から令和2年度は95冊に増加し、市民の移動図書館への関心は高まっていると考えられる。	令和2年度は新規の巡回ステーション設置を見送ったが、今後は新型コロナウイルス発生状況をみながら徐々に巡回ステーションを増やしたい。
今後の取り組み方針		
市民の読書環境の向上を図るため、離島を始めとする遠距離地域への移動図書館の巡回ステーション設置箇所を増やすとともに、搭載図書も市民の関心の高い分野を中心に、郷土の文化や歴史を知るための図書なども取り揃え、本館と連携した『市民のくらしに役立つ移動図書館』を目指す。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
30,341	30,341	24,272	6,069	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については不用額もなく、適正な規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	